

～ヒトとペットのダニ媒介感染症講演会～

身近に潜むマダニに注意



島根県ではマダニが媒介する感染症の発生が、ヒトやペットで増加しています。

マダニとはどのような生態で、マダニに刺されないために、どうすれば良いのかを、ヒト・ペットそれぞれの感染症の話題を含めて解説します。

〈講師〉

角森 丈俊（島根県隠岐保健所調整監）

藤澤 直輝（島根県保健環境科学研究所主任研究員）



ペットに付着したマダニ
提供：益田ペットクリニック 松本泰和先生

とき 令和7年 **3月16日（日）**

13：30—15：00（13：00開場）

ところ 島根県立図書館 1階集会室（松江市内中原町52）

申込方法

3月14日（金）までに、しまね電子申請サービスからお申し込みください。
（QRコードを読み取ってください）**参加無料**です。
※先着順に受け付け、定員（30人）に達し次第締め切ります。



関連行事

令和6年度ダニ媒介感染症パネル展
「身近に潜むマダニに注意」
【会場】島根県立図書館1階ホール
【会期】令和7年3月13日～4月2日

問合せ先

島根県保健環境科学研究所
〒690-0122 松江市西浜佐陀町582-1
TEL.0852-36-8188

【受付時間】午前8時30分から午後5時15分

マダニから身を守ろう

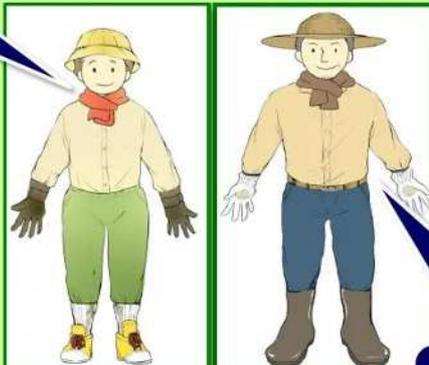
野外では、腕・足・首など、肌の露出を少なくしましょう！

首にはタオルを巻くか、ハイネックのシャツを着用しましょう。

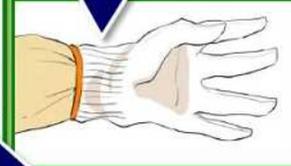


半ズボンやサンダル履きは不適當です！

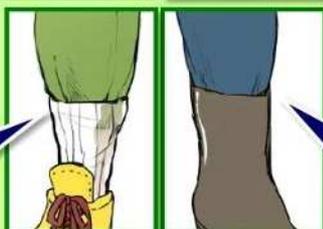
ハイキングなどで山林に入る場合は、ズボンの裾に靴下を被せましょう。



シャツの袖口は軍手や手袋の中に入れてみましょう。



シャツの裾はズボンの中に入れてみましょう。



農作業や草刈などではズボンの裾は長靴の中に入れてみましょう。

上着や作業着は、家の中に持ち込まないようにしましょう。



屋外活動後は、シャワーや入浴で、ダニが付いていないかチェックしましょう。



ガムテープを使って服に付いたダニを取り除く方法も効果的です。

ダニ類の多くは、長時間（10日間以上のこともある）吸血します。吸血中のマダニを無理に取り除こうとすると、マダニの口器が皮膚の中に残り化膿することがあるので、皮膚科等の医療機関で、適切な処置（マダニの除去や消毒など）を受けて下さい。

マダニに咬まれたら、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は、医療機関で診察を受けて下さい。